

今後の見直しに向けた被害想定項目の検討ポイント

国想定と県想定の差分などを考慮しつつ、基本方針に基づき、被害想定項目についてご意見をいただきたい。

基本方針

（包括的な考え方）

1. 科学的・客観的な手法や最新のデータを用いて、定量的に被害を評価するとともに、防災対策の進展や人口構造の変化などの将来を見据えて、大分県の実情を反映し、これまでの対策効果も測ることができる大分県の防災対策の基礎資料とする。

（調査対象・調査項目）

2. 令和6年能登半島地震を踏まえて、新たに報告された国東半島沖の海底活断層を追加し、災害関連死等の被害推計など、具体的な被害の姿を可能な限り盛り込む。

（調査結果の形式）

3. 調査結果は、県民、教育・研究機関、企業等が身近なものとして活用し、自主的な防災活動がすすめられるよう、わかりやすい形に加工して提供する。また、活用例も示しながら、推計可能な最小の単位かつ使いやすいデータ形式を用いてオープンデータ化を図る。

（提言）

4. 県民及び行政が今後取り組むべき防災対策について、複合災害や半割れへの対応を含め、具体的な行動に落とし込んだ提言を行い、様々な主体の行動を促すものとする。

これまでの県想定で項目になくとも、国が想定した項目のうち、重要度が高い項目は盛り込む。
手法等の差異がある項目は、より最新で客観性のある手法を採用する。

能登半島地震を踏まえた新たな項目を追加。被害の姿を分かりやすく見せるようにも努める。

予測単位は旧市町村等の推計可能な最小の単位とする

被害想定項目の検討について（事務局案）

事務局案

被害想定項目		国想定 (R7)	県想定 (R8)	予測単位(公表)	内容	県想定 (H31)	予測単位(公表)
自然災害の推計	地震動	定量	定量	市町村 250mメッシュ	地表震度分布図	定量	市町村 250mメッシュ
	液状化	定量	定量		液状化危険度分布図	定量	
	斜面崩壊	定量	定量		急傾斜地地震時危険分布	定量	
	最大津波高	定量	定量	代表地点＋ 最短到達地点 10mメッシュ	各市町村の代表地点（計43地点）と最短到達地点の値を算出 堤防条件）①堤防が機能しない ②津波が乗り越えたら破堤する	定量	代表地点 10mメッシュ
	津波到達時間	定量	定量			定量	
社会的な被害推計	建物被害	揺れによる被害	定量	市町村・ 旧市町村	全壊、半壊棟数	定量	市町村
		液状化による被害	定量	市町村・ 旧市町村	全壊、半壊棟数	定量	市町村
		津波による被害	定量	市町村・ 旧市町村	全壊、半壊（床上浸水含む）、床下浸水棟数	定量	市町村
		急傾斜地崩壊による被害	定量	市町村・ 旧市町村	全壊棟数	定量	市町村
		地震火災による被害	定量	市町村・ 旧市町村	焼失棟数	定量	市町村
	物的関係	ブロック塀・自動販売機の転倒・ 屋外落下物による被害	定量	市町村・ 旧市町村	ブロック塀による被害	定量	市町村
	ライフライン・ 交通施設	上水道	定量	市町村・ 旧市町村	影響人口	定量	市町村
		下水道	定量	市町村・ 旧市町村	影響人口	定量	市町村
		電力	定量	県	停電世帯数	定量	県
		電話・インターネット	定量	県	不通回線数	定量	県

被害想定項目の検討について（事務局案）

事務局案

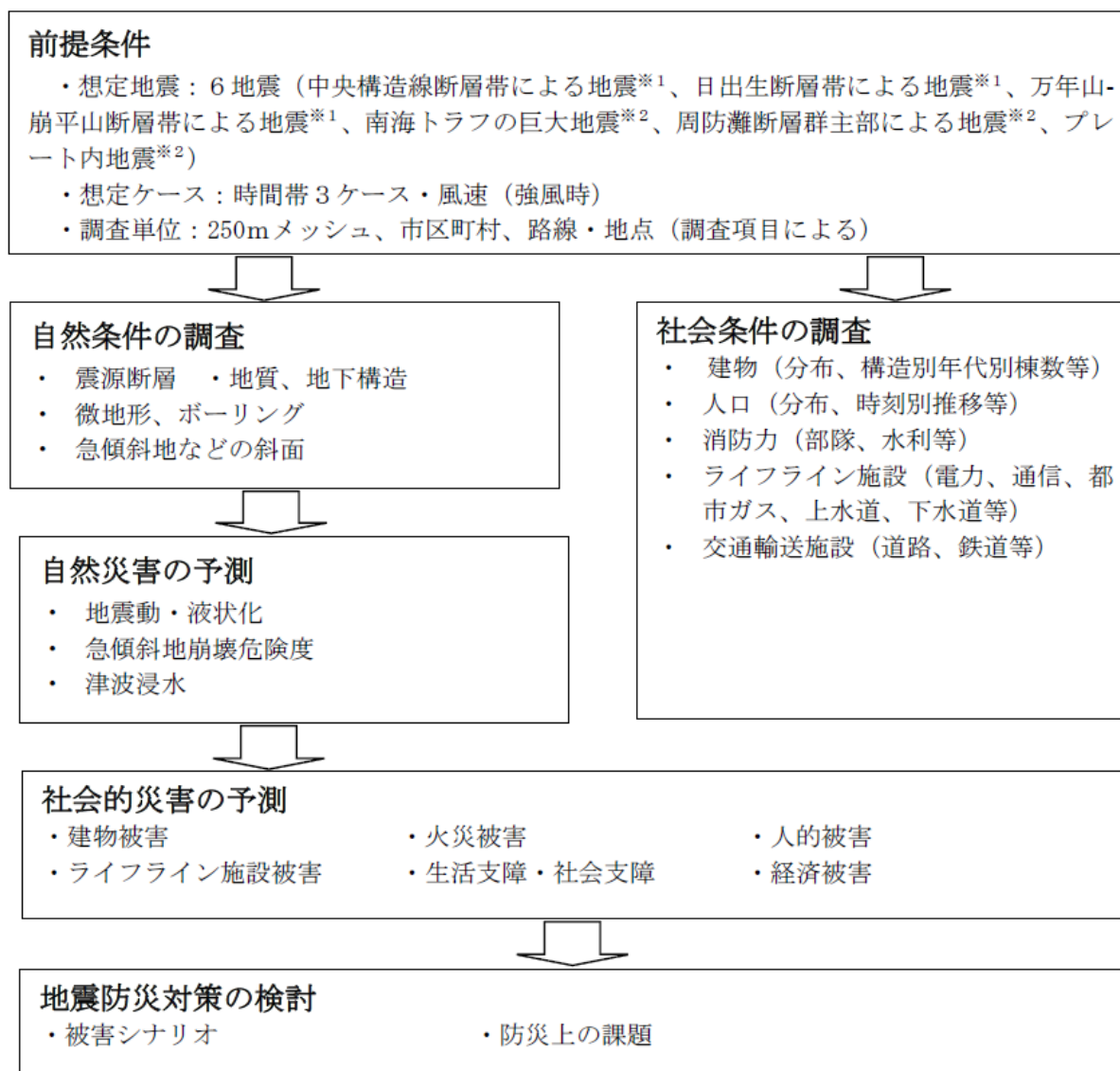
被害想定項目			国想定 (R7)	県想定 (R8)	予測単位(公表)	内容	県想定 (H31)	予測単位(公表)
社会的な被害推計	ライフライン・交通施設	携帯電話	定量	新 定量	県	停波基地局率	なし	
		都市ガス	定量	定量	県	影響世帯数	定量	県
		道路施設	定量	定量	県	被害箇所数	定量	県
		鉄道施設	定量	定量	県	路線単位の被害箇所数	定量	県
		港湾施設	定量	定量	県	港単位の被害箇所数	定量	県
		空港施設	定性	定性	県	大分空港の被害の様相	定性	県
	人的被害	建物崩壊による死傷	定量	定量	市町村・旧市町村	シーン）冬5時・夏12時・冬18時 区分）死者・負傷者（重傷者・軽傷者）	定量	市町村
		津波による死傷	定量	定量	市町村・旧市町村		定量	市町村
		急傾斜地崩壊による死傷	定量	定量	市町村・旧市町村		定量	市町村
		火災による死傷	定量	定量	市町村・旧市町村		定量	市町村
		ブロック塀倒壊等による死傷	定量	定量	市町村・旧市町村		定量	市町村
		揺れによる建物被害に伴う要救助者	定量	定量	市町村・旧市町村	建物全壊による自力脱出困難者	定量	市町村
		津波被害に伴う要救助者	定量	新 定量	市町村・旧市町村	要救助者数	なし	
		災害関連死	定量	新 定量	県	災害関連死者数	なし	
	減災効果	建物耐震化による人的減災効果	定量	定量	市町村・旧市町村	耐震補強後の揺れによる木造・非木造建築物被害と人的被害	定量	市町村

被害想定項目の検討について（事務局案）

事務局案

被害想定項目			国想定 (R7)	県想定 (R8)	予測単位(公表)	内容	県想定 (H31)	予測単位(公表)
社会的な被害推計	減災効果	津波避難の迅速化、及び避難ビルの設置による人的減災効果	定量	定量	市町村・旧市町村	早期避難＋避難ビル効果	定量	市町村
		経済的減災効果	なし	なし	アクションプラン等でも利用していないため、国想定（R7）に合わせて項目削除		定量	県
	社会機能支障	要配慮者	定量	定量	市町村・旧市町村	要配慮者数（避難行動要支援者数）	定量	市町村
		観光客	なし	定量・定性	市町村・旧市町村	観光客数	定量	市町村
		避難者	定量	定量	市町村・旧市町村	1日後、1週間後、1か月後の避難所生活者数と避難所外避難者数	定量	市町村
		住機能支障	なし	定量	市町村・旧市町村	長期的住機能支障数（応急仮設住宅世帯数、公営住宅世帯数等）	定量	市町村
		帰宅困難者	定量	定量	市町村・旧市町村	帰宅困難者数	定量	市町村
		物資	定量	なし			なし	
		医療機能支障	定量	定量	市町村・旧市町村	要転院患者数、医療対応不足数	定量	市町村
		清掃・衛生機能支障	定性	定量	市町村・旧市町村	仮設トイレ需要、瓦礫発生量、ごみ発生量	定量	市町村
		孤立集落の発生	定量	定量	市町村・旧市町村	農業集落、漁業集落	定量	市町村
		経済被害	定量	定量	県	直接被害、間接被害額	定量	県
	その他の被害	エレベータ内閉じ込め・道路閉塞・危険物コンビナート施設・文化財	定量	なし			なし	
その他		災害シナリオ（横断的整理）	定性	定性	県	ストーリー型シナリオ（半割れ、複合災害等を含む）	定性	県

【参考】平成31年大分県地震被害想定調査の流れ図



※1 地震動から解析を実施し、自然災害予測と社会災害予測を算定・更新

※2 前回、前々回調査の自然災害予測結果を用いて、社会災害予測の建物被害及び人的被害を更新